

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	整備基礎	授業コード	N160351
担当教員名	林田 和隆	科目ナンバリングコード	N21603
配当学年	2	開講期	後期
必修・選択区分	選択必須	単位数	2
履修上の注意または履修条件	航空工学基礎を受講していることが望ましい。		
受講心得	授業の中で3回小テストを実施するので、配布プリントは必ず自分なりにまとめておくこと。		
教科書	「航空工学入門」 日本技術協会		
参考文献及び指定図書	「空を飛ぶはなし」 日本技術協会		
関連科目	航空工学概論、航空工学基礎		

授業の目的	飛行機が目的地まで飛ぶために、どのような装備品が必要になるのか、その装備品の概要を理解することを目的とします。
授業の概要	航空機電源、航空機計器および非常用装備の概要について学習します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：電気基礎 オームの法則を基本とする簡単な計算を学習します。	配布プリントによる 予習復習
第2週：蓄電池(バッテリー) 蓄電池の種類と充電方法について学習します。	配布プリントによる 予習復習
第3週：発電機(ジェネレータ) 発電機の種類と原理について学びます。	配布プリントによる 予習復習
第4週：電源系統 飛行機に使われている電源の種類と簡単な配線図について学習します。	配布プリントによる 予習復習
第5週：電気に関する復習 第1回～第4回目の授業の内容について小テストを実施します。	復習テスト
第6週：電子装備 航空機に使用するアンテナおよび通信用無線機器について学習します。	配布プリントによる 予習復習
第7週：電子装備 格納庫にあるコックピットトレーナーを見ながら、航法用無線機器について解説します。	配布プリントによる 予習復習
第8週：電子装備	配布プリントによる

航法用無線機器の原理について学習します。		予習復習
第9週：電子装備 航法用無線機器用の地上設備について学習します。		配布プリントによる 予習復習
第10週：電子装備に関する復習 第6回～第9回目の授業の内容について小テストを実施します。		復習テスト
第11週：空盒計器 速度、高度に関する基本原理について学習します。		配布プリントによる 予習復習
第12週：空盒計器 電気信号に変換する最新の空盒計器の原理について学習します。		配布プリントによる 予習復習
第13週：ジャイロ計器 飛行機の姿勢や方向を知るためのジャイロ計器の原理について学習します。		配布プリントによる 予習復習
第14週：非常用装備 防火、消火装置、酸素系統、救急用具について学習します。		配布プリントによる 予習復習
第15週：空盒計器、ジャイロ計器、非常用装備に関する復習 第11回～第14回目の授業の内容について小テストを実施します。		復習テスト
第16週：期末試験 期末試験を行います。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	
	(3) アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	航空関連雑誌、航空関連本の内容が大体理解できる。
【知識・理解】	飛行機が飛行航路上を飛んでる時の、コックピット計器の働きが概ね理解できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	20点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	

【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	20点		
【知識・理解】 ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。	80点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	